

毎日心地よく眠るためのお手入れ

寝具は毎日使うため、清潔な環境を保てるようこまめにお手入れし、気持ちの良い環境を保ちましょう。

※商品によって扱い方が異なるため表示にしたがって、正しい方法でお手入れをしてください。

1 日干しと陰干しの使い分けってあるの？

ふとんを天日干しした後のふっくらとした感触はとても心地よいですね。しかし、取扱表示には陰干しと書いてあって、日干しをためらうこともあるのでは？実はシルク以外の繊維であれば、それほど気にしなくても大丈夫です。陰干しだけでは乾ききれない湿気を、屋外で日に当ててすっきりと乾かして、快適に使いましょう。ただし、毎日のように日干しをすると、日焼けしたりしますので、日常的には陰干し、時には日干しという風に上手に使い分けましょう。

〈注意〉特にシルクは紫外線によって繊維が劣化する性質がありますので、できるだけ日光は避けましょう。※ウレタンフォームについてのお手入れはP.29を参照

2 洗濯機の話

家庭用の洗濯機は、従来のタテ型と比較的新しいドラム式に二分され、ドラム式洗濯機をお使いのご家庭も増えています。水や洗濯ものが回転する方向が違うだけなのに、洗濯機の取り扱いの方法が大きく異なります。また、タテ型・ドラム式とも、洗濯容量が大きい機種も増えています。特に寝具類は面積が大きいかさも高いので、洗濯容量が大きい洗濯機でないと洗えない場合が多いですが、ドラム式は容量が大きくても洗えない品目に指定されていることもあります。お使いの洗濯機で洗えるかどうかは、まず洗濯機の取扱説明書をご確認いただく必要があります。

3 柔軟剤の使い方知ってる？

近年種類が非常に増えている柔軟剤ですが、タオルやタオルケットには使いはじめの頃は使用せず、硬くなった回数に1回程度のご使用をおすすめしています。タオル類のパイルが抜けやすくなったり、毛羽が出やすくなったりすることが理由です。反対に、毛布類(特に化繊のもの)は使用をおすすめしています。冬期は、空気が乾燥して静電気が起きやすいですが、柔軟剤には静電気を防止する効果があるからです。だからといって、使い過ぎは禁物です。たくさん使っても効果がアップするどころか、過剰につくと水分になじみにくくなり、風合いや手触りが変わってしまうこともあるので、1回の使用量を守って使用してください。

羽毛のふんわりをキープするお手入れ

●ふとんがわの汚れを防ぐために必ず掛けふとんカバーをかけましょう。ふとんを日干しする際もカバーをかけたままでOKです。ただし、掛けふとんカバーや衾カバーを安全ピンでとめたり、針を使って縫い付けたりすると、羽毛の吹き出しやふとんがわ破損の原因となりますので、厳禁です。

4 ウォッシュャブル〇〇のお手入れ方法って？(洗濯洗剤の話)

洗濯用の洗剤、特に液体洗剤は種類が多くどれを使ったらよいのか悩んでいる方も多いのでは…。特に注意してほしいのは、ウォッシュャブルのウールやカシミア、シルクや羽毛を洗う時。これらのお洗濯の時だけは、ウールやシルクが洗える「中性洗剤」を選んでください。最近の液体洗剤は「液性：中性」となっているものが増えていますが、それだけではなく「用途：毛・絹～」となっているかを確認しましょう。

5 よくある臭いのお話

羽毛やウール、シルク、ウレタンフォームなど、購入して広げたら臭う、というお声も。臭いは、温度や湿度が高いとより強く感じます。ほとんどが使用している素材由来の臭いで、流通中に含んだ湿気がパッケージを開けた時に強調されて感じられるケースや、ウォッシュャブル商品であれば、洗濯後の乾燥中に臭うケースもあります。また、同じ臭いでも、人によって感じ方は千差万別。そんな臭いの解消法は、屋外で風にあてて乾燥すること。閉め切った部屋の中だと、臭いがこもってしまいますので、せめて窓を開けて部屋の空気が入れ替わるようにしてください。

6 「毛羽」なんて読むの？

『けぼ』と読みます。毛布であれば、肌に当たる部分の繊維を毛羽部分として表示します。また、使用や洗濯によって出る繊維くずを指すこともあります。繊維と毛羽は切っても切り離せないもの。絹を除く天然繊維は1本の繊維が短く、それを撚り合わせて糸にするため、使用や洗濯による摩擦で毛羽立ち、脱落したものが毛羽となります。また、化学繊維を使用したものであっても、毛布などは肌触りをよくするために繊維を細くしたり、天然繊維同様に短い繊維を撚り合わせて糸にします。更に、起毛といって針で搔いているものもありますので、やはり毛羽とは無縁ではないのです。

※毛羽についてのお手入れは、品種や洗濯機等により異なるため、各ページのお手入れをご確認ください。

●日常的には陰干しですが、月に1～2回程度で片面1時間ずつ、屋外で日に干して乾燥させましょう。新品や収納後開封時に羽毛特有の臭いが気になる場合は、ふとんを折り畳んで臭気を押し出してから、風通しの良い屋外に繰返し干すと徐々に臭いが薄くなっていきます。また、天気が悪かったり、花粉の時期で外に干せない場合は、ふとん乾燥機で乾燥させることもできます。

取扱表示、ご存知ですか？

難しいように見えても、わかってしまえば簡単です。

5つの基本記号

家庭洗濯

漂白

乾燥方法

アイロン

商業クリーニング

付加記号

洗いの強さ

線なし
通常

弱い

非常に弱い

温度

…
高い

..
低い

・
低い

禁止

家庭洗濯

40

40

40

洗濯機洗いができる。記号の中の数字は洗濯液の上限温度を表す。「-」は「線なし」よりも弱く「=」はさらに弱い洗いを表す。

洗濯液の温度は40℃を限度とした手洗いができる。

液温は30℃を限度とし、手洗いができる。

家庭での洗濯はできない。

漂白

塩素系及び酸素系漂白剤が使える。

酸素系漂白剤のみが使える。

漂白剤は使えない。

乾燥方法

I 干し

II ぬれ干し

III 日陰の干し

IV 日陰のぬれ干し

I 平干し

II ぬれ平干し

III 日陰の平干し

IV 日陰のぬれ平干し

※ぬれ干しは脱水せず(絞らず)に干すことを表す。

家庭でのタンブル乾燥ができる。点の数は乾燥温度を表す。「..」はヒーターを「強」等に設定「・」はヒーターを「弱」等に設定

タンブル乾燥禁止

アイロン

アイロンを掛けることができる。点の数はアイロンの底面温度の上限を表す。





アイロン掛けはできない。

底面温度120℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げができる。

商業クリーニング

P パークロロエチレン又はジプトキシメタン若しくは石油系溶剤又はデカメチルペンタシクロシロキサンによるドライクリーニングができる。

F 石油系溶剤又はデカメチルペンタシクロシロキサンによるドライクリーニングができる。

P パークロロエチレン又はジプトキシメタン若しくは石油系溶剤又はデカメチルペンタシクロシロキサンによる弱いドライクリーニングができる。

F 石油系溶剤又はデカメチルペンタシクロシロキサンによる弱いドライクリーニングができる。

W ウェットクリーニングができる。「-」は「線なし」よりも弱く、「=」はさらに弱い洗いを表す。





ドライクリーニングはできない。

ウェットクリーニングはできない。